



森林ボランティア

「オホーツクの会」だより No.34

緑の募金活動

「防ごう地球温暖化」緑の募金キャンペーンが4月22日(金)、「緑と花の市民の会」が中心となり8団体60人が集まり北見市内で募金活動が行われました。

当会からは角、吉田(昭)、常呂川森林ふれあい推進センターからは白藤所長が参加し1条商店街で通行者から募金を募りました。



こどもフェスタに協力



5月1日(日)、北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル北見(北見市常呂町栄浦)で行われた「こどもフェスタ」に参加しました。

これは、毎年開催されており、小中学生を対象として体験を通して学ぶことを目的としています。

イベントには20以上のボランティア団体等によるブースが設けられ、親を含む子供たち510名が参加し楽しそうに活動していました。

当会は常呂川森林ふれあい推進センターとともに森の自然素材を使った工作や木の実を模した種飛ばしゲームなどを提供しました。

(角、吉田(昭)、長谷川、小島)

ネイパルとは

自然=nature ネイチャー と仲間= pal パルを合わせた造語で道内に6か所(北見、砂川、深川、足寄、森、厚岸)あります

”できればえに感動”

森のパネル展

北見市緑のセンターで5月13日から18日、森林の魅力・大切さや当会の活動などを紹介したパネル展を常呂川森林ふれあい推進センターと当会で開催しました。

パネル展は春の園芸祭の期間中でもあり多くの方々が訪れました。

植物の花パネルを見ていたお年寄りからは、“幼い頃エゾエンゴサクの花の蜜を吸ったことがある”など懐かしそうに話をしながら見入っていました。



14日（土）、15日（日）は木の実の工作や竹とんぼ作りのコーナーを設けたところ、参加した子供はもちろんのこと大人も自然の素材で作った作品の出来映えに感動していました。

普段、自然に触れる機会が少ない子どもたちにとっては、自然の素材に触れることで自然への関心を持つきっかけになったことでしょう。



なお、開催に当たっては多くの会員の皆様の協力により大盛況のイベントとなりました。

（鞆師、角、吉田（昭）、吉田（正）、栄、長谷川、金村、鞆師（和）、中橋、植村、小川）



第1回オホーツクの会自主活動

5月29日（日）、森林づくりの一環として、森の家周辺と育樹開会式予定地の草刈、ボランティアが育樹を続けている植栽個所の目印付け、散策路の階段整備、新たに使用できるようになった休憩室の清掃などを行いました。

更には子ども探検隊などで利用されている小川に倒木を渡し、自然の中で楽しめる場所を整備しました。

昼食時は今後の活動への話など楽しく有意義なひと時を過ごし、午後には、ウド、ワラビなどを採り家路につきました。

なお、当日協力頂いた会員15名です。（角、吉田（昭）、栄、長谷川、植村、吉田（正）、小島、小川、小林、吉本、小山、村林、渋谷、轡田、長南）



（側溝の水があふれないように）



（植栽箇所の目印付け）



（散策路階段の補修）



（倒木を利用した橋づくり）

※ 『匠の技』 を発揮 ※

休憩室整備と手鎌研ぎ

第1回自主活動の前日に、手鎌研ぎと、森の家のそばにある建物で床が傾いたりして使用できなくなっていたものを会員が整備して使えるようにしました。(角、長谷川、吉田(正)、植村、小島)

また、窓のカーテンは渋谷朝美さんが手作りしたものを、寄付して頂きました。

今後は当会の活動時にも利用させていただける建物として楽しみにしています。



(土台の修理)



(板をかませて完成)



(土台の水平をチェック)



(手鎌研ぎの様子)

森林の魅（味）を感じよう

6月5日（日）、常呂川森林ふれあい推進センターが主催して「森の家」で山菜教室が開かれ、当会員を含めた28人が参加しました。



講師の工藤森生山菜アドバイザーから様々な山菜について教わり、参加者は、普段食べたことがない山菜に興味津津の様子でした。

午後は“ふれセン”所長から自然再生モデル事業の展開や「山の日」（8月11日）設定など自然の大切さの話聞いた後、みんなで山菜を採取しました。

—教わった概要—

○山菜採取のマナー・ルール

- ・山菜とりは必要最小限にとどめ、根を残すなど根絶しないように心がけること。
- ・行き先は事前に伝え、単独行動はしないこと。
- ・自信のない山菜は採らない・食べない・あげない。

○山菜採りの実習

- ・山菜は採るとすぐ劣化が始まるのでクーラーボックス（氷入り）が最適、また、籠は風通しが良く適している。（ビニール袋は発熱するので最悪）
- ・山菜は開花するまでの時期は若芽を摘めば食べられる。

○野外調理と試食

山菜の風味が損なわれないよう採取後なるべく早く調理して食べること。

・味噌汁

ヨブスマソウ、ウドは皮も葉もつけて湯通しし、水にさらして油揚げと共に味噌汁へ。セリ、ミツパは生のまま刻んで鍋へ。

・炒め物

フキは皮をむき、ウドはそのまま湯通しして水にさらし刻んで、油揚げと共にフライパンへ入れ、軽く温めてから、だし醤油を入れ少し煮詰める。

（※ 山菜を茹でる時：必ず食塩を加えること）



（味噌汁づくり）



（炒め物）

オホーツクの森 ボランティア育樹



(常呂小児童と当会会員)

子供たちは枝打ちのことについて説明を受け作業に取り掛かりました。

初めてのノコ使用で慎重に取り掛かりましたが、徐々に慣れ終了時間が近づいても“もっとやりたい”と意欲的でした。

午後からは山菜採りと森林散策とに分かれ楽しみました。

6月15日(水)、オホーツクの森で北見市や常呂漁協など8団体と端野小、常呂小5年生が加わり170人がアカエゾマツの枝打ち作業を行いました。

当会からは10人が参加し、子どもたちの枝打ち指導等を行いました。



(端野小児童と当会会員)

森林散策ではガイドの説明を熱心にメモするなど意欲的な姿もありました。

(角、吉田(昭)、渡部、小島、小林、吉田(正)、栄、金村、植村、小川)



(開会式の様子)



(小川さんがていねいに指導中！！)

第2回 オホーツクの会自主活動

6月19日（日）、古の森の遊歩道解説板の補修、当会と森林管理署が6月1日に協定締結した「オホーツクふれあいの森」にある展望台近くの除伐や歩道の草刈に汗をかきました。

伐採後は展望台からの眺望が復元し、遠くは知床連峰を見渡せるようになり作業効果に満足しました。

なお伐採された樹木の一部は、ベンチ作りの材料等として利用するため集積しました。

参加者：吉田（昭）、角、吉田（正）、金村、鞆師、鞆師（和）、長谷川、
渋谷



（鋸で伐採している様子）



（遊歩道の看板整備の様子）



（伐採した木を運んでいる様子）



（看板を付ける支柱を埋めています）



（展望が良くなり満足）



○「森林・木材のすばらしさを体感しよう(森林づくり塾)」

日時 平成28年7月9日(土)
集合時間 9時00分 常呂川森林ふれあい推進センター前からバスが出ます。
場所 オホーツクの森・留辺蘂町ウッドピア
内容 針広混交林と最先端木材工場を見学し森づくりに生かす
(参加できる方は7月5日まで常呂川森林ふれあい推進センターに申し込みください)

○生田原教育センター森林教室実施協力

日時 平成28年7月16日(土) 10:00~14:00
集合場所 オホーツク「森の家」 9:00集合
内容 こども探検隊と同様を予定
(協力いただける方は7月11日までに事務局に連絡下さい)

○こども探検隊

日時 平成28年7月23日(土)
集合時間 8時40分 常呂川森林ふれあい推進センター前からバス
場所 森の家周辺
内容 アイスブレイク、カモフラージュ、散策、ビンゴ、ブランコ、ターザンロープ、綱登り、川遊び、鋸体験、クラフト作り他
(協力いただける方は7月19日までに事務局に連絡下さい)

○夏休み子ども見学デー

主催 農政事務所・森林管理署・ふれあいセンター
日時 平成28年7月28(木)~29日(金) 10:00~15:00
場所 北見市立東小学校 体育館(北見市大町159)
内容 小学生を対象に農林水産業への関心を高めてもらう(パネル展示・木工制作等)

○みどり検定

主催 オホーツクみどりネットワーク
日時 平成28年7月31日(日)(事前研修があります・費用は無料です)
場所 網走市駒場 こまば“木のひろば”
内容 基礎編、ガイド編:筆記・野外検定(認定:クラウン、マスター、1級~3級)
問合せ先 オホーツク観光連盟 TEL 0152-45-1885

○第3回オホーツク森林フェスティバル

主催 オホーツクみどりネットワーク
日時 平成28年8月6日(土)～7日(日)
場所 網走市駒場 こまば“木のひろば”
内容 森林の大切さを理解して頂くため、森林ウォークや木エクラフト体験等身近なみどりとの触れ合いを楽しむ
当会からは、ミニウォークやクラフト・丸太切り体験等を予定

○山の日制定記念 藻琴山登山&散策会

日時 平成28年8月11日(木)
集合時間 8時30分 JR北見駅南口の中央プロムナード前からバスが出ます。
場所 藻琴山
内容 「山の日」として今年8月11日が初めての祝日、山に親しみながら散策する

○森林づくり塾

日時 平成28年9月25日(日)
場所 未定
内容 未定

○パネル展示

日時 平成28年10月1日(土)～10日(月)
場所 緑のセンター
内容 パネル展示、クラフトづくり他
協力者

○森林散策(第1回)

日時 平成28年10月2日(日)
場所 未定

○森林散策(第2回)

日時 平成29年2月25日(日)
場所 未定

詳細は後日
お知らせします。

※ 申し込みの際は、別紙申し込み用紙を活用下さい

木々に関するつづき

春の山菜「ギョウジャンニク」

オホーツクの寒く長い冬を耐えて迎える「春」。

春といえば山菜の季節です。

その山菜の代表格とも言えるのが、ギョウジャンニク。

ギョウジャンニクはアイヌ語で「プクサ」と呼びます。

まれに“アイヌネギ”と表示されているのを見かけますが“アイヌネギ”という名前の植物は存在しません。

また、「キトビロ」や「キトビル」とも呼ばれますが、これは日本語の“祈禱（いのち）”が語源となり、アイヌ語で「キト」と呼ばれるようになったという説があります。

こんなうんちくを言いながら山菜採りにでかけてみてはいかがでしょうか。

中橋 千織

※ 会報発行の都合で掲載が遅れました。

ギョウジャンニクについては、来年春のお楽しみに。（今の季節は、白い花が見られます。）

「オホーツクふれあいの森」協定締結

当会は6月1日付けでオホーツクの森におけるボランティア活動について網走中部・網走南部森林管理署との間でふれあいの森協定（5カ年）を結びました。

目的

ふれあいの森での活動を通して、多くの市民に森林の働きを啓発できる場所を整備する。

活動内容

除伐、枝落とし等修景作業、花木植栽、森林教室、簡易ベンチ設置、遊歩道草刈



※ 場所は、ここです

会費の納入のお願い

ご承知のとおり当会は皆様からの会費を基に活動を進めており、滞納者が増えると運営に支障を来すことが避けられません。

年会費を滞納し続けた場合は、継続の意思がなく退会と判断せざるを得ません。

今年度中に滞納分を納入していただければ継続とさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

— 納入方法 —

- ・ 総会で納入
- ・ 常呂川森林ふれあい推進センター内の事務局に納入（月曜～金曜（祝祭日は除く）8：30～16：30）
- ・ 会が開催・参加するイベント時に納入（会報等でご確認ください）
- ・ 会の郵便局口座に振り込む（手数料がかかります）

振込先口座 19960-8073231

森林ボランティア「オホーツクの会」



お問い合わせ

北海道森林管理局
常呂川森林ふれあい推進センター内
森林ボランティア「オホーツクの会」事務局

〒090-8588 北海道北見市北斗町3丁目11-3

平日8:30～12:00 13:00～16:45

TEL 0157-23-2960

FAX 0157-26-2144